

2020年11月17日

各 位

会 社 名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 吉田 大介 (コード:4388 東証マザーズ)
問合せ先	執行役員管理グループ統括 前田 忠臣 (TEL. 03-6801-8402)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

- 開催状況
 - 開催日時 2020年11月17日(火) 15:30~16:30
 - 開催方法 WEBによる開催
 - 開催場所 株式会社エーアイ 本社 会議室
(東京都文京区西片一丁目15番15号)
 - 説明会資料名 2021年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以 上



2021年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2020年11月17日

株式会社エーアイ

証券コード：4388





- 1. 企業概要**
2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2021年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて



会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 吉田 大介
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西方一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	150,311,320円（資本準備金 120,110,000円）
市場	東京証券取引所マザーズ（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：43名 パート：16名（嘱託社員を含む）
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2020年9月末日現在）



(企業理念)

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

(MISSION) 声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

(VISION) 音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

(VALUE) 音声技術のトップランナーで居続ける

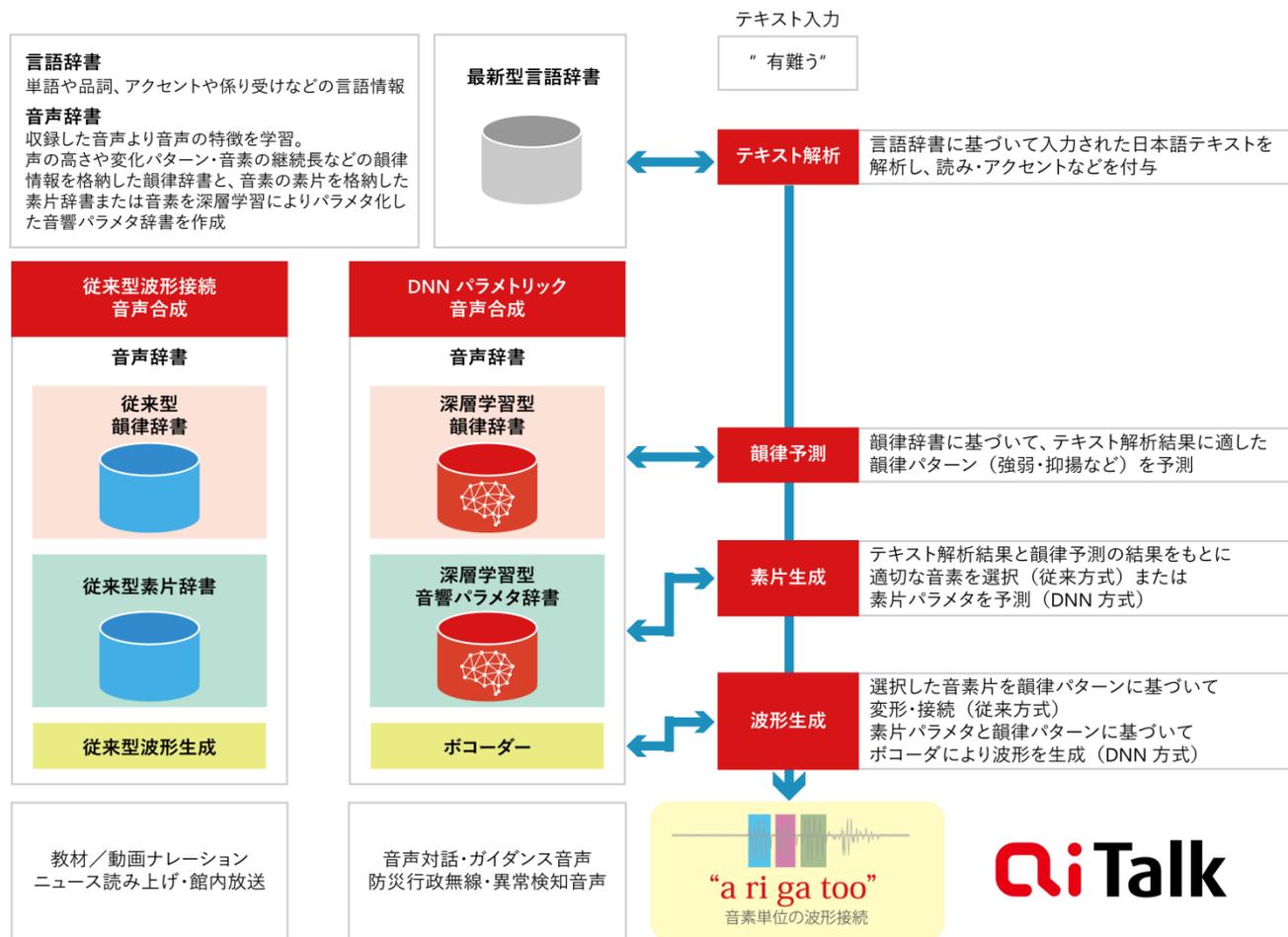
1. 人が幸せになる技術・サービスを提供する
2. お客様と社員と共に未来をつくっていく
3. 日々、一步一步丁寧に歩いていく

(行動指針)

- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客様も社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。



機械的な合成音ではなく、人間の肉声に近い自然な音声を実現した高品質音声合成エンジンです。次世代型音声合成エンジン「AITalk®5.0」は、従来の「コーパスベース音声合成方式と」、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求した高品質音声合成エンジンです。



① 人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

② 総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

③ 誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようなリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (売上の50~60%)	パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> ・ AITalk® 声の職人® ・ AITalk® 声プラス® ・ AITalk International®
		ライセンス提供	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> ・ AITalk® SDK ・ AITalk® Server ・ micro AITalk®
		受託開発	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> ・ AITalk® Custom Voice®
	法人向けサービス (売上の25~35%)	クラウドサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> ・ AITalk® WebAPI ・ AITalk® Web読み職人® ・ AITalk® 声の職人® クラウド版
サポートサービス		ストック型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術サポート 	
コンシューマー向け製品 (売上の10~20%)		パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> ・ かんたん！AITalk® ・ かんたん！アフレコ™ ・ AITalk® あなたの声® ・ VOICEROID® 琴葉 茜®・葵® ・ VOICEROID® 伊織 弓鶴™



利用されている用途



音声対話



防災行政無線



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマホアプリ



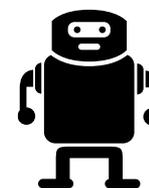
観光案内



施設案内



車内各種放送



ロボット



電話自動応答



WEBキャンペーン



WEBサービス



ゲーム



e-Learning教材



マニュアル



機器組込み



パッケージソフト組込み



ソフトOEM提供



自社サービス展開



導入実績数



1200 社

防災行政無線での
導入自治体数



648
市区町村

オリジナル音声辞書
作成実績数



370 名

法人向け
パッケージソフト
累積販売数



1300
ライセンス

コンシューマー向け
パッケージソフト
累積販売数



6万
ライセンス以上





1. 企業概要
- 2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要**
3. 2021年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて



当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前事業年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大によって東京オリンピック・パラリンピックが開催延期、緊急事態宣言発出による不要・不急の外出自粛等が影響し、急激に悪化いたしました。

当社を取り巻く環境においては、オリンピック関連案件の発注延期、海外からの観光者減少に伴う多言語案件の減少、展示会の中止等に伴う営業機会の減少等の影響がありましたが、企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途での需要が増加し、また、個人の外出自粛に伴い消費者向け製品の需要が拡大しました。このような事業環境の中、
○上半期売上高360百万円、経常利益105百万円で、前年同期比、当初（5月15日発表）計画比ともに、増収増益。

※売上高は、前年同期比15.7%増、経常利益は、同66.5%増。

※法人向け製品、消費者向け製品が堅調に推移し、売上高は、計画比105.9%。

※展示会の中止、出張の自粛、採用コストの削減等により、経常利益は、計画比229.5%。

○ポストコロナを見据え、次世代音声合成エンジン「AITalk®5.0」の提供開始、セレンス社との技術連携強化、営業体制の強化、「AITalk®5声プラス®」販売記念キャンペーン等を実施。

○人材の採用は順調に推移。

※4月～9月、途中で4名入社。

※2021年4月新卒で4名内定。



○新型コロナウイルスの感染が拡大する中、企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途での需要が増加。また、個人の外出自粛に伴い、コンシューマー向け製品の需要が拡大した結果、法人向け製品、コンシューマー向け製品が順調に推移し、売上高は、15.7%増加。

○売上高が増加する一方で、展示会の中止、出張の自粛等により販売管理費が抑制され、営業利益、経常利益ともに、66.5%増加。

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期（実績）		2021年3月期 第2四半期（実績）		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	311	100.0%	360	100.0%	+48	+15.7%
売上原価	62	20.1%	49	13.6%	△13	△21.8%
売上総利益	248	79.9%	311	86.4%	+62	+25.1%
販売管理費	185	59.5%	205	57.1%	+20	+10.9%
営業利益	63	20.4%	105	29.3%	+42	+66.5%
経常利益	63	20.4%	105	29.3%	+42	+66.5%
四半期純利益	49	15.8%	77	21.6%	+28	+58.1%



○法人向け製品、コンシューマー向け製品が堅調に推移し、売上高は、当初計画比105.9%で達成。

○新型コロナウイルスの感染拡大により、音声収録が伴うCustom Voice関連、東京オリンピック関連等の受託案件が減少したことにより、売上原価が計画比58.4%に留まり、売上総利益が計画比121.5%となった。

○次世代型音声合成エンジン「AITalk®5」のリリースに伴い、研究開発費が増加したものの、展示会の中止、出張の自粛、採用コストの削減等により、販売管理が計画比97.8%に留まり、営業利益、経常利益、四半期純利益が計画比大幅増となった。

(百万円)

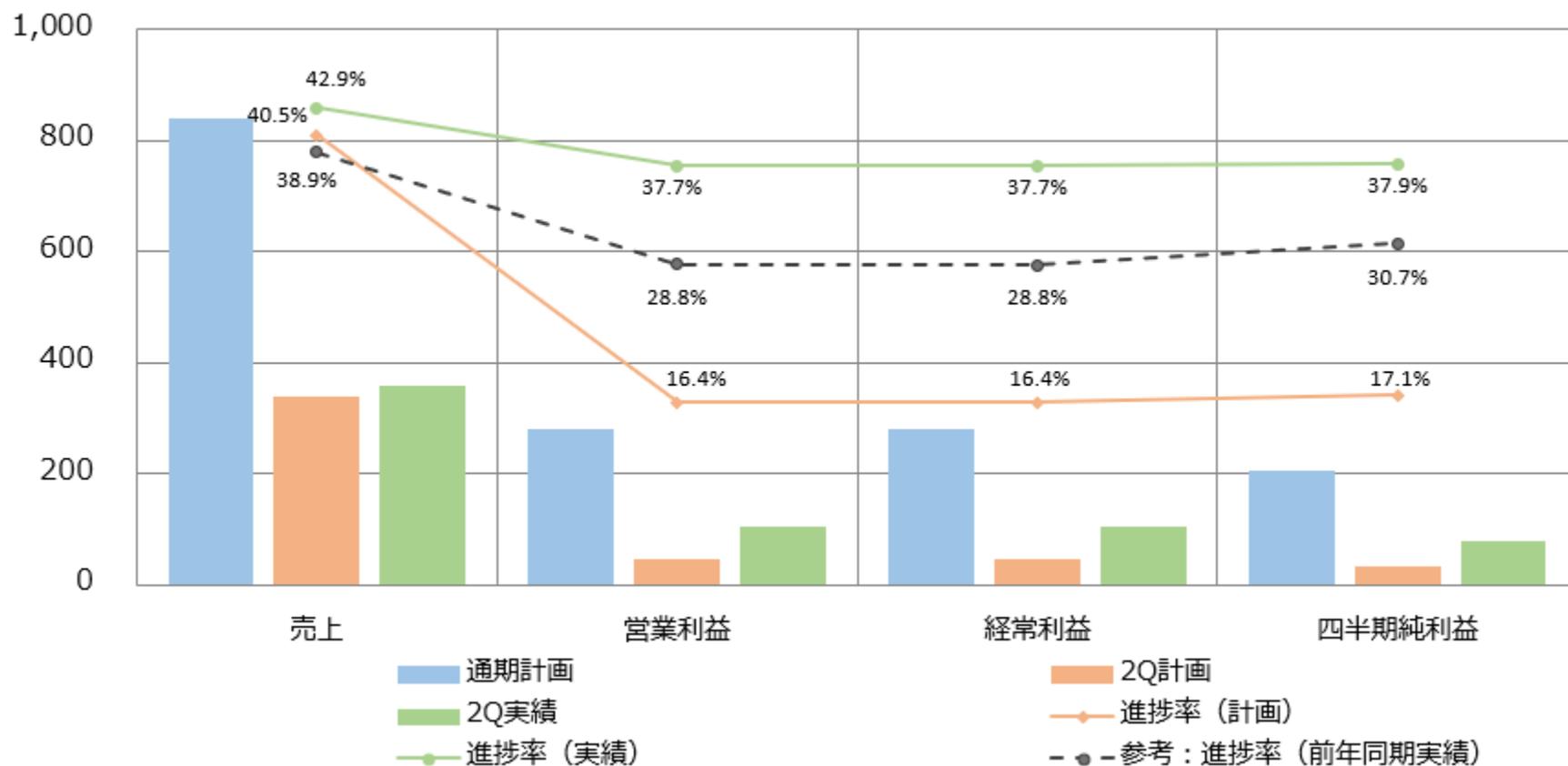
	2020年3月期 第2四半期 (当初計画)		2021年3月期 第2四半期 (実績)		計画比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	達成率
売上高	340	100.0%	360	100.0%	+20	105.9%
売上原価	84	24.7%	49	13.6%	△34	58.4%
売上総利益	256	75.3%	311	86.4%	+55	121.5%
販売管理費	210	61.8%	205	57.1%	△4	97.8%
営業利益	46	13.5%	105	29.3%	+59	229.5%
経常利益	46	13.5%	105	29.3%	+59	229.5%
四半期純利益	35	10.3%	77	21.6%	+42	221.9%



○売上高については、計画を2.4ポイント上回り、進捗率42.9%。

○売上高の上振れに加えて、売上原価、販売管理費が、計画値より少なく推移したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益については、計画を大幅に上回って進捗。

(単位：百万円)

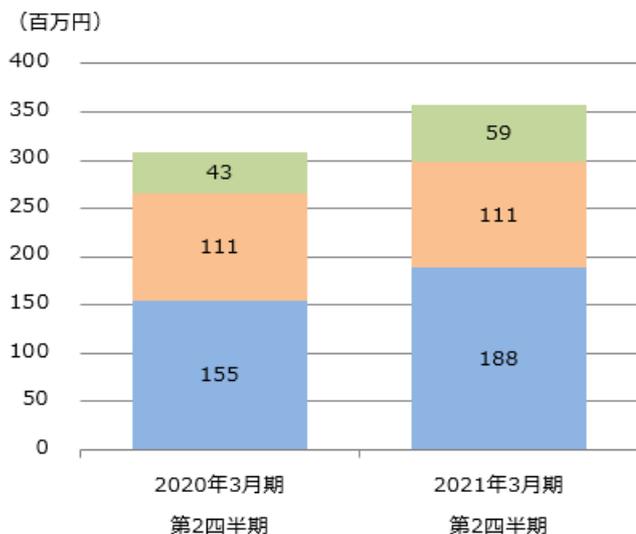


【法人向け製品】

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途での需要が増加し、パッケージ製品（声の職人、声プラス）の販売が堅調に推移。

【コンシューマー向け製品】

外出自粛に伴い、コンシューマー向け製品の需要が拡大。



(百万円)

	2020年3月期 第2四半期(実績)		2021年3月期 第2四半期(実績)		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	155	50.0%	188	52.4%	+21.3%
法人向けサービス	111	36.0%	111	31.0%	△0.4%
コンシューマー向け製品	43	14.0%	59	16.6%	+36.7%
合計	311		360		+15.7%



2021年3月期 第2四半期 貸借対照表の概要

【資産合計】

現金及び預金が66,910千円増加したものの、売掛金が75,500千円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が3,652千円、投資有価証券が3,196千円減少し、前事業年度末比18,771千円の減少。

【負債合計】

未払法人税等が30,944千円、買掛金が10,996千円、その他に含まれる未払金が15,290千円減少し、前事業年度末比63,002千円の減少。

【純資産合計】

利益剰余金が42,551千円増加し、前事業年度末比44,231千円の増加。

(百万円)

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動資産	1,137	1,128	△9
固定資産	51	41	△9
有形固定資産	16	16	±0
無形固定資産	8	6	△2
投資その他の資産	26	19	△7
資産合計	1,189	1,170	△18

	2020年 3月期	2021年 3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動負債	138	75	△62
固定負債	2	2	±0
負債合計	141	78	△63
純資産	1,047	1,092	+44
負債・純資産合計	1,189	1,170	△18
自己資本比率	88.1%	93.3%	+5.2pt





1. 企業概要
2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要
- 3. 2021年3月期 通期 業績予想・配当方針**
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

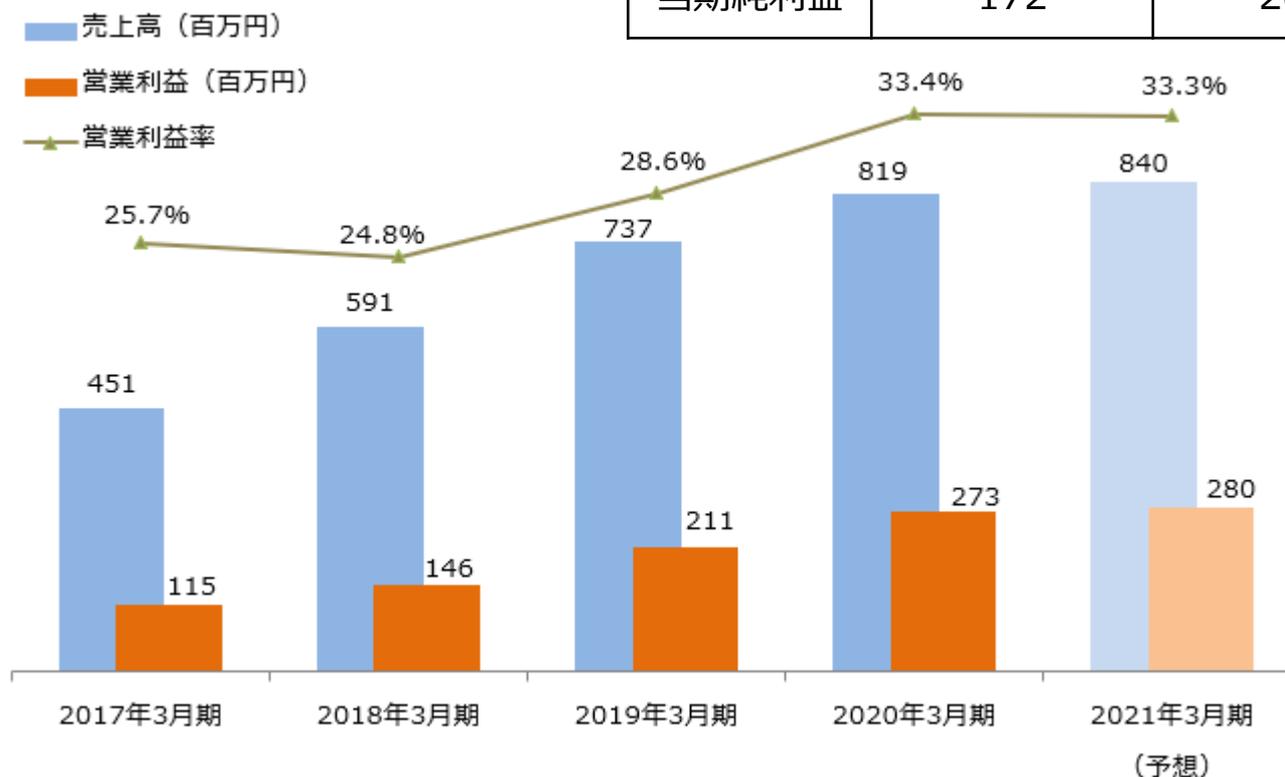


2021年3月期通期業績予想

2021年3月期通期業績予想については、期初計画から変更なし。

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
売上高	819	840	+2.5%
営業利益	273	280	+2.3%
経常利益	273	280	+2.5%
当期純利益	172	205	+18.8%



(新型コロナウイルス感染拡大の影響)

【法人向け製品】

企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途での需要が増加し、パッケージ製品（声の職人、声プラス）の販売が堅調に推移。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により、音声収録が伴うCustom Voice関連、東京オリンピック関連等の受託案件が減少。プラス要因、マイナス要因の影響を考慮し、前期比△1.9%の4.9億を見込む。

【法人向けサービス】

N T Tドコモ社の「my daiz」サービスの寄与に加え、「AITalk® WebAPI」「AITalk® 声の職人 クラウド版」については、大きな影響もなく、前期並みの2.3億を見込む。

【コンシューマー向け製品】

外出自粛に伴い、コンシューマー向け製品の需要が拡大し、前期比32.8%増の1.2億を見込む。

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	499	61.0%	490	58.3%	△1.9%
法人向けサービス	229	28.0%	230	27.4%	+0.2%
コンシューマー向け製品	90	11.0%	120	14.3%	+32.8%
合計	819		840		+2.5%



初のテレビCM「AITalk®、ご存知ですか？篇」10/17スタート



オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE™」

2021年2月販売開始予定



The banner features the Ai logo in the top left corner. The main text 'A.I.VOICE™' is centered in a large, white, sans-serif font, with a stylized soundwave graphic behind it. Below the title, it says '2021年春リリース予定' (Spring 2021 release scheduled). At the bottom, the slogan '声を創ろう' (Let's create voices) is written in a bold, white font. A small paragraph of text at the very bottom describes the software as an AI voice synthesis tool based on AITalk®5 technology, aimed at providing more human-like and rich voices.

Ai
エーアイ

A.I.VOICE™

2021年春リリース予定

声を創ろう

A.I.VOICE™は、音声合成AITalk®5の技術を応用した個人利用者向けソフト。
さらなる人間らしさ・豊かさを追求したその音声は、また一步人間に近づいています。

「琴葉 茜・葵」



「伊織 弓鶴」



当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2021年3月期（第18期）の剰余金の配当につきましては、2021年3月期第2四半期累計期間における実績及び通期業績予想を勘案し、前期から1円増配の8円とする予定であります。

	年間配当					配当性向
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	
2020年3月期 (実績)	—	0円	—	7円	7円	20.5%
2021年3月期 (予想)	—	0円	—	8円	8円	19.6%





1. 企業概要
2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2021年3月期 通期 業績予想・配当方針
- 4. ESGへの取り組み**
5. 今後の成長へ向けて



(S:社会)

①女性活躍の推進

- ・社員43名中、女性が21名 (48.8%)
- ・管理職12名中、女性が4名 (33.3%)

②子育て支援の推進

- ・育児休業制度の活用 3名 (内、2名は6月に復帰)

③働き方改革の推進

- ・所定労働時間の短縮 8時間から7.5時間へ
- ・フレックスタイム制度の導入
- ・残業の少ない職場環境 上半期 全社平均 月9.99時間 (前期平均:10.17時間)
- ・休暇を取りやすい職場環境 上半期 最大で10日取得
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、在宅テレワーク制度の暫定導入 (10月より正式導入)

(G:ガバナンス)

①株主・投資家との対話

- ・機関投資家向け説明会の開催 1回
- ・証券会社主催のスモールミーティング 1回
- ・機関投資家との1on1ミーティング 29回





1. 企業概要
2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2021年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて



マーケットの状況

第1フェーズ：片方向の情報提供



第2フェーズ：双方向の対話・コンシューマーへの普及



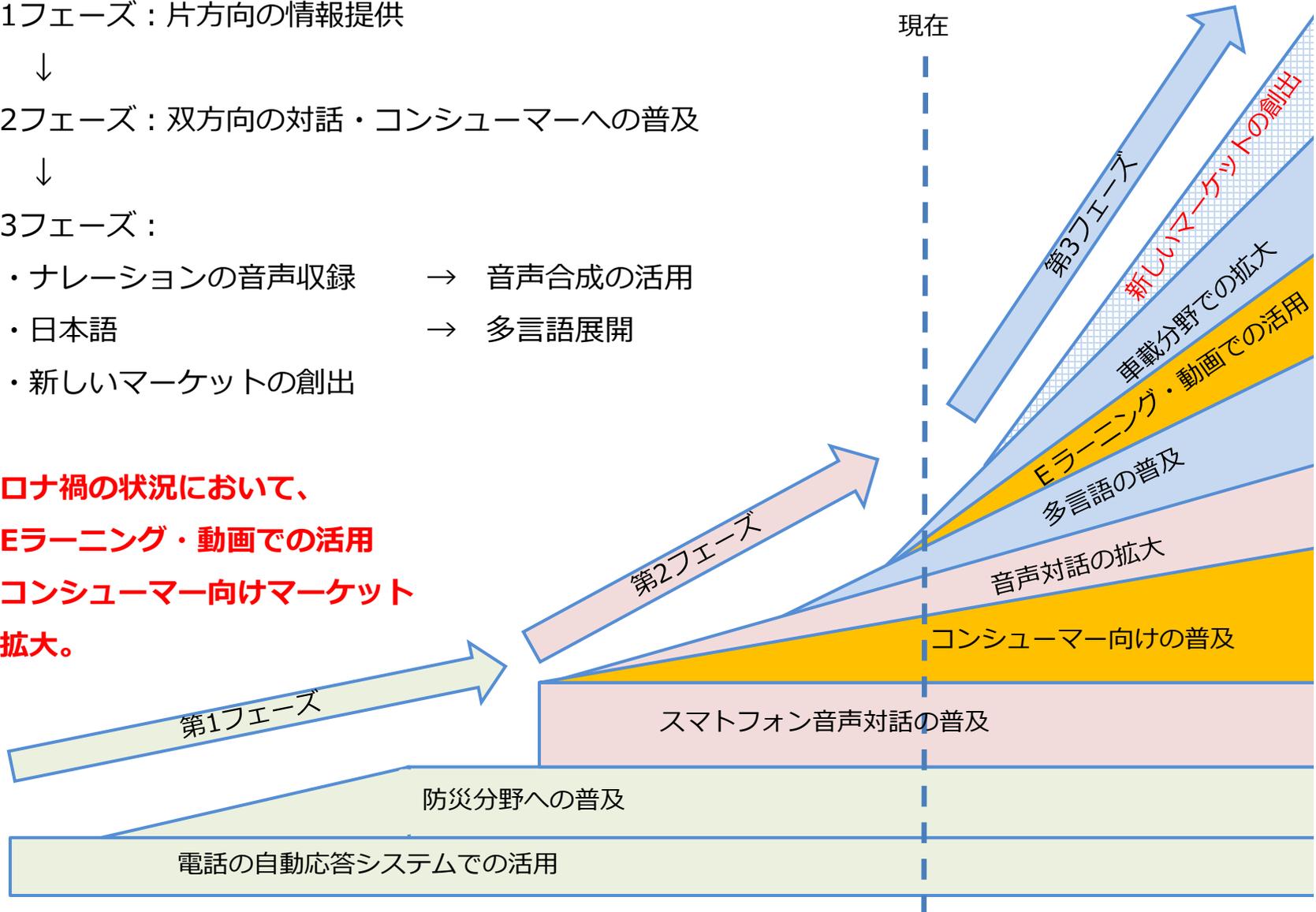
第3フェーズ：

- ・ナレーションの音声収録 → 音声合成の活用
- ・日本語 → 多言語展開
- ・新しいマーケットの創出

コロナ禍の状況において、

- ・Eラーニング・動画での活用
- ・コンシューマー向けマーケットが拡大。

現在



2020年6月22日付けで「Cerence 社とのライセンス契約に関する進捗状況のお知らせ」にて開示

(https://www.ai-j.jp/2020/06/22_2/)

Cerence社とのライセンス契約に基づき、2020年6月1日より

「AITalk®」が組み込まれた「Cerence TTS」がCerence社より提供開始されました。

(Cerence社の概要)

社名：Cerence Inc.

本社：アメリカ合衆国マサチューセッツ州

設立：2019年10月

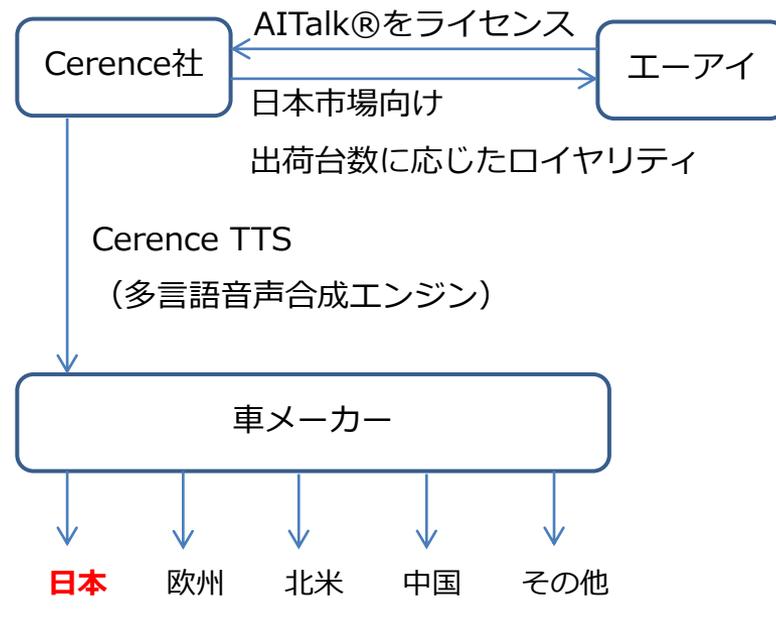
上場市場：米国NASDAQ（証券コード：CRNC）

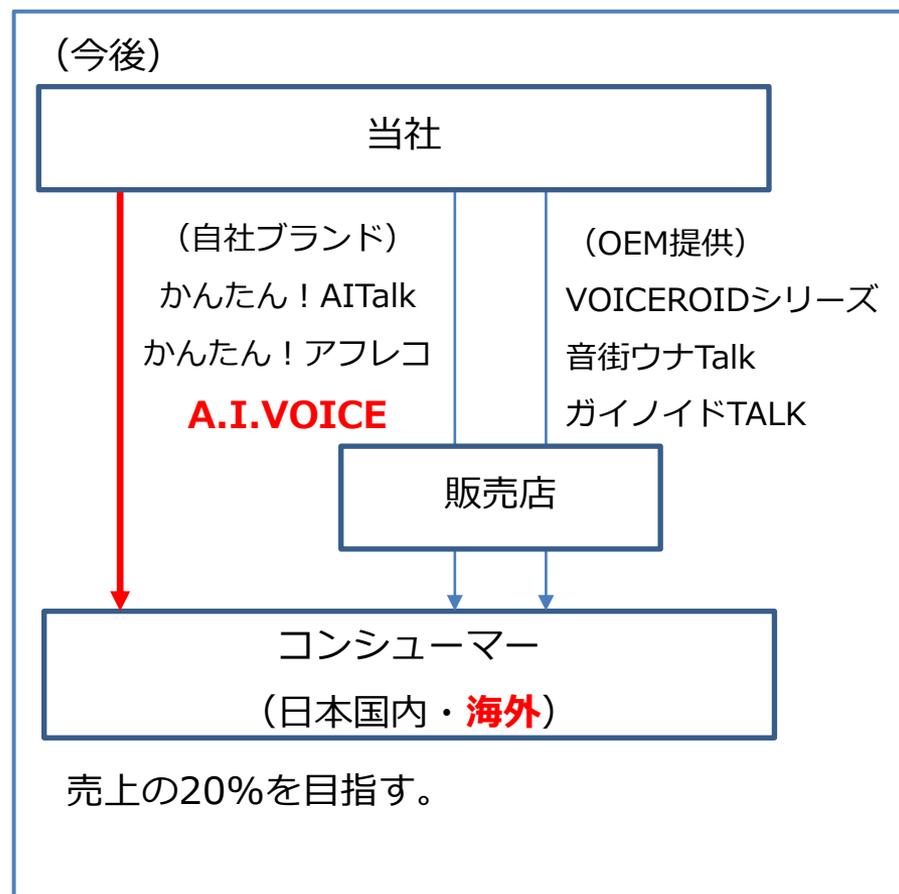
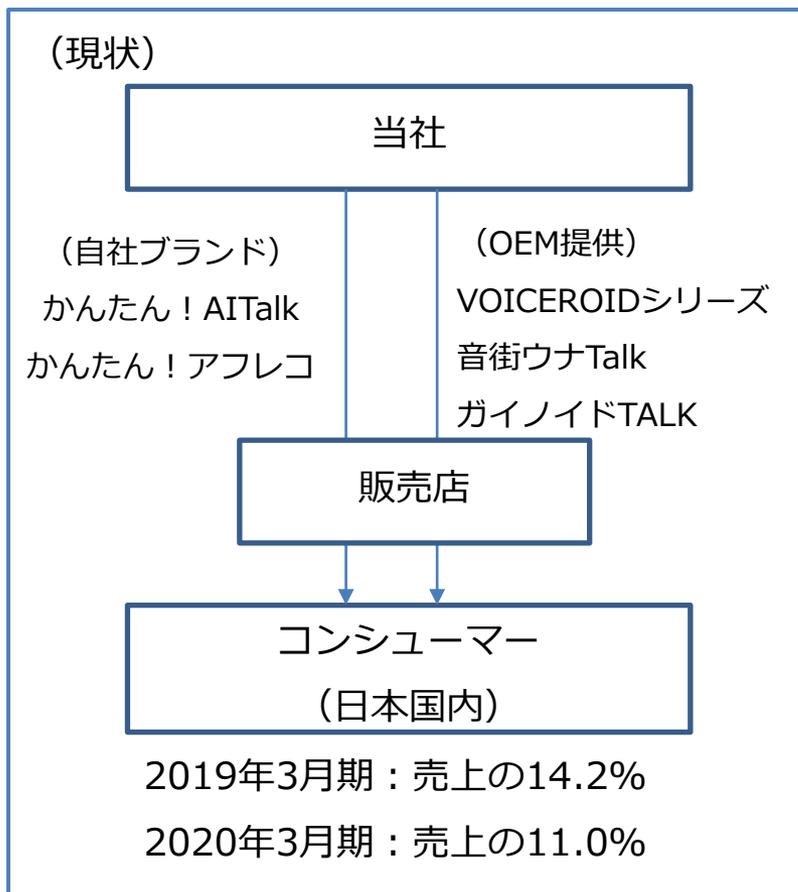
URL：http://www.cerence.com/

事業概要：

Cerence社は、自動車業界向けに独自のソリューションを提供し、ユーザーの心を動かすような体験を創出するグローバル・リーダーです。当社は世界の大手自動車メーカーと提携し、自動車がドライバーを認知し、反応し、そして学習する方法の変革を支援しています。その実績は、20年にわたる自動車業界への知見と、約3億2,500万台もの自動車への採用によって裏付けられています。コネクテッドカー、自動運転、電気自動車の将来において、セレンスは明確なビジョンを持っています。

(ビジネススキーム)





2021年2月 販売開始 (予定)

・日本語音声合成パッケージ

2021年12月 販売開始 (予定)

・歌声合成パッケージ

・外国語 (英・中) 音声合成パッケージ 28



名古屋大学 戸田教授との共同研究（2018年4月～2021年3月（予定））

（戸田教授の経歴）

2003年4月～2005年3月	日本学術振興会 特別研究員 – P D
2005年4月～2007年3月	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助手
2007年4月～2011年3月	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教
2011年4月～2015年8月	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授
2015年9月～現在	名古屋大学 情報基盤センター 教育情報メディア研究部門 教授

（戸田教授の主な研究内容）

音声情報処理	音声変換・音声合成・音声分析・音声認識・音声対話・音声翻訳
音楽情報処理	歌声分析・歌声変換・楽音分析・楽音分離
音環境情報処理	音響イベント認識・多チャンネル音響信号処理

（共同研究の概要）

- ・ WaveNet（音声波形を生成するためのディープニューラルネットワークの一つ）などの最先端の深層学習ベースの音声合成技術の研究開発を実施中。
- ・ 研究成果については、特許出願を行った後、順次学会発表、社外発表等を行い、

2021年4月以降、製品化を進めていく予定。



本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。